



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第94号 2019年11月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



9月と10月の2回とも関東直撃の台風は珍しいことでした。事前に、乾いた稲を倉庫に引き上げたり、大雨に備えてカバーをかけたりと、農家並みの備えのおかげで、被害は極小。秋の谷戸まつりを前に、豆やいもの収穫も着々と成果を上げています。

台風一過後
倒れた稲とはさの片付け

谷戸も台風被害も甚大でした

50年以上も放置された未間伐の樹木がたくさん倒れました。強風で表土の薄い斜面の、人の手では徐間伐が困難な高木が倒れてくれたわけです。市内の主要なハイキングコースが通行不能になった影響か、秋の散策を楽しみたい人や、多くの保育グループが市内外から殺到し、うれしいような、困惑するような。やっと園内のすべての道が開通しましたが、山の手入れが必要不可欠だと改めて感じさせられました。



しいしから農家風休憩舎へ向かう途中

お知らせ

秋の谷戸まつり 11/24(日)
10:00

お椀とお箸を
ご持参ください!

場所：野外生活体験広場（荒天中止）
展示・紙芝居上演・頒布・体験コーナー
炊き出し（谷戸鍋・餅・ご飯）

引き換え券頒布開始 11時



ホームページリニューアル

トップページの写真を大きくし、見出しも分かりやすくなり、会の魅力がより伝わるようになりました。

今すぐアクセスしてみてください!



●ノウサギは柴犬？ 冬の早朝、谷戸は霜で真っ白になっています。湿地の中に柴犬が！ と思ったらノウサギだった！ そんな経験を何度かしています。大きい、耳が短い、茶色い、案外ゆっくり動く、普通のウサギと違うノウサギの特徴です。タイワンリス以外の獣は夜行性なので谷戸で見かける機会は少ないのですが、ノウサギを見た人は特に少ないでしょう。

●ノウサギを探す 姿はなかなか見られませんが、フン、足跡、食痕（植物を食べた跡）からノウサギの存在を確認することができます。ノウサギの足跡は特徴的なもので、雪の降った後なら誰でも足跡を見つけることができます。田んぼの泥に足跡が残っていることもあります。ササの葉、セリなど植物を食べています。ササの葉先が斜めに鋭く切断されたような食痕や、早春、セリの葉先が噛み切られてたくさん食べられている様子も観察できます。また、谷戸の湿地の中を歩くと丸い粒のようなフンがたくさん落ちています。20年ほど前までは、足跡やフンなどノウサギの活動の跡が普通に見られたものですが、最近はほとんど見つからなくなってしまいました。

●減少しているノウサギ 本来、市内全域にいたはずのノウサギですが、谷戸と同じような環境である、台峯緑地、広町緑地でも20年ほど前を境に激減しています。その原因として、①畑とその周辺の草地が少なくなった？ ②人やペットが入り込むようになっておびえている？ ③外来種のアライグマなどの影響？ などが考えられます。①に関しては、20年前すでに畑は減少していましたし、谷戸では現在でも畑を継続しています。②に関しては、人が入らない台峯緑地でも減少しています。③に関しては、よくわかりませんが、20年ほど前からアライグマが増えてきたので、おそわれているのかもしれません。

●ノウサギを守るには？ うっそうとした林ではなく、畑の周辺のような草地がないとノウサギは生息できません。田畑と明るい雑木林がある里山の環境を守ることが必要でしょう。以前、ノウサギのフンが最も多かったのは、東谷沖の湿地でした。人通りが少ない谷戸の奥にある湿地も大切なことがわかります。最近はアライグマの駆除が全市内で進んだので、減少傾向にあるようです。情報が少ない鎌倉のノウサギですが、今の活動を続けて、長い視点で見守りたいと思います。

谷戸往来

深小ふれあい広場 10/26(土)

PTA と協力して釜戸で炊き出しをしました。子どもたちは先生の谷戸紹介の話を聞きながら、芋ご飯おにぎりとお芋づるをほおぼっていました。



鎌倉中央公園 フェスティバル

谷戸産の梅干し入りおにぎりを無料配布しました。希望者には今年の稲わらも配りました。秋の香り添えて谷戸米を提供できました。

体験学習

(教育支援教室ひだまり中3)「秋の谷戸の観察」で見つけた彼岸花は、まだ蕾のままのものと、お彼岸が過ぎて赤から桃色に近い色になったものがありました。サツマイモは最初に見たときよりも大きくなっていて、赤紫っぽい色になっていました。堆肥を集めるところの草刈りは、大きい虫があまりいない代わりに、少しかたい草などが多かったし、暑かったので疲れしました。

(深沢小5・稲刈り) 切るときに、かまを前にぐってひくと言っていたんですが、けっこう一束に数があつて、おもいきりかまを入れてもぜんぜん切れなかったけど、半分開くらいまでいけばザクツときもちよく切れました。



(富士塚小5・稲刈り)「いね刈りはきたなくならないかな」と思っていたら、田んぼに水が入っていて「えーまたよこれちゃうんだ」と思いました。だけどいねをかってみるとザクザクといってきもちよかったです。「よこれたけど楽しかった」と思いました。

体験学習予定

深沢小5年 11/7

富士塚小5年 11/5

教育支援教室ひだまり 11/6

田んぼ班

稲刈り前後の2つの台風の直撃で、稲の倒伏、ハサの部分的な倒壊の被害がありました。

予定より若干遅れぎみですが、稲刈りは無事終了し、谷戸まつりに提供できるよう脱穀精米を進めています。



10/20 はさがけ

雑木林管理班

今秋は台風の影響を受け、園路沿いにかなりの倒木がありました。斜面の立木が大きくなりすぎている事が原因の一つです。木々の状況を確認し、今期の除間伐計画を立て作業を進めます。

畑班

2度の台風にもかかわらず、畑の作物にはほとんど被害がなく一安心。さつまいもも例年どおりの収穫がありました。これから落花生、たのくろ豆、さといもと楽しいな収穫が続きます。



10/20 里山探検隊

自然遊び班

里山探検隊「さつまいも掘り」★いもほりでたくさん手がよごれたけど楽しかったです。(小3) ★いねかりで、最初、かまを4回くらいひいてかったけど、最後のほうは1, 2, 3回ひいてできました。(小5)

農芸班

未成熟で青いうちに収穫したのが枝豆ですが「たのくろ豆」は茎葉が黄変し、サヤが褐色してから収穫、さらに乾燥させます。足踏み脱穀機を使って殻出し作業をします。味噌作りは3月に予定。

生態系保全班

小川から湿地に水を引くホースが台風の影響で詰まりました。掃除をして何とかしのぎましたが、この状態ではまた詰まるでしょう。よい方法を試行錯誤しています。モズが鳴き始め秋を感じました。



10/16 ヒガンバナの移植

植物育成班

寄付されたヒガンバナの移植をしました。毒があるので、モグラや虫などの被害を防ぐため畔に植えるとよいといわれています。先人の知恵を意識し、田んぼの周辺に植えました。開花が楽しみです。

11月

- 3日(日) 田 脱穀(予備)・粃干し
畑 小麦の種蒔き ☆
雑 雑木林を歩いて調査 ♣
- 4日(月・祝) 田 粃干し・溝切・畔土寄せ
- 6日(水) 生 カヤネズミの巣の調査 ♣
かまくらママ's カレッジ
「サトイモとどろんこ」
- 9日(土) 田 粃すり・精米・わら切り
- 10日(日) 田 粃すり・精米・わら切り ♣
畑 たのくろ豆の収穫 ♣
自 父と子の里山体験 ▶
「竹コップ・麦茶を作ろう」
青空自主保育にここ会保全活動
- 17日(日) 田 粃すり・精米・わら切り
畑 さといも掘り・洞入れ
雑 雑木林の除間伐 ♣
自 子ども里山一日体験
「さといも掘り」 ▶
- 20日(水) 農 たのくろ豆殻出し・選別 ♣
畑 たまねぎの苗植え
- 24日(日) 秋の谷戸まつり 10～14時**
- 27日(水) 植 ヒガンバナの手入れ ♣

12月

- 1日(日) 田 落ち葉かき ☆
畑 大根の収穫・洗い・干し ♣
雑 雑木林の除間伐
- 4日(水) 生 カエル産卵場所の整備 ♣
- 8日(日) 田 落ち葉かき・苗床耕し・土ふるい☆
畑 落ち葉かき・土壌改善♣やきいも☆
雑 雑木林の除間伐 ♣
自 里山探検隊
- 15日(日) 会員親睦会
田 粃殻くん炭 ♣
雑 雑木林の除間伐 ♣
講座「正月飾り作り」☆
- 18日(水) 畑 亀戸大根の種蒔き
農 たくわん漬け ♣
- 22日(日) 田 粃殻くん炭
雑 雑木林の除間伐 ☆
青空自主保育やんちゃお保全活動

1月

- 5日(日) 田 藁切り・土ふるい
雑 雑木林の調査・測定 ♣
- 8日(水) 畑 畑の整備
- 12日(日) 田 粃殻くん炭・堆肥切り返し♣
雑 竹の伐採 ☆
- 14日(火) 春の七草とどんど焼き**
- 15日(水) 生 アシ原の野鳥を探そう ♣
畑 堆肥作り ☆
- 19日(日) 田 粃殻くん炭・堆肥撒き ♣
畑 荒おこし
雑 間伐材整理 ♣
青空自主保育にここ会保全活動
- 22日(水) 畑 麦踏み ☆
- 26日(日) 田 粃殻くん炭・堆肥撒き ☆
畑 じゃがいも畑の耕し ♣
雑 園内整備 ☆
講座「雑木林の観察」 ☆
青空自主保育なかよし会保全活動

☆ 谷戸塾 ♣里山一日体験 (要予約)
▶ 会員以外の方 参加費500円/組
班活動は、9時半に農家風休憩舎に集合

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班 農：農芸班
自：自然遊び班 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時～16時

ホームページ：<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報95号)は、2020年1月に発行予定

